

投資者の皆様へ

2025年1月28日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

1月28日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
 以下のファンドの基準価額が1月28日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(1月28日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI米国小型成長株ファンド	22,450 円	▲1,435 円	▲6.0%

2.基準価額下落の主な要因

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

当ファンドの基準価額に影響がありましたのは1月27日の海外市場となります。27日の米国市場では中国のスタートアップ企業のDeepSeekが最先端のNVIDIA半導体を使用しないでも優れたAIを提供できると発表したため、NVIDIA株が約17%下落したのをはじめ先端半導体株、AIならびにデータセンター関連株が大きく売られました。そのため、フィラデルフィア半導体指数が▲9.15%と下落したのをはじめ、多くの指数が下落しました。S&P500種指数で見て、セクター(11分類)は、情報技術、公益などの下落が大きくなりました。一方、生活必需品、ヘルスケア、金融などは比較的堅調でした。

米ドル為替レートは、円高ドル安(ドル円仲値で見て、3日から4日に、仲値で見て155.60円から155.13円の動き(約0.32%下落)となりました。米長期金利の低下などから円高ドル安傾向となりました。

27日は、前日比、S&P500種指数は、▲1.46%、ダウ工業株30種平均は+0.65%、ナスダック総合指数は▲3.07%、ラッセル2000種指数は▲1.03%、ラッセル2000種グロース指数は▲2.06%、となりました。米10年国債

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

利回りは、26日は4.6214%で27日は4.5343%へ低下しました。株式市場の投資家の不安心理を示すとされるVIX指数は、27日は17.90(26日:14.85)と大きく上昇しました。

トランプ大統領就任以来、新施策の市場での織り込みが進んでおります。そのようななか、DeepSeekの報道はサプライズ的に市場の反応を招きました。引き続き、本件はウォッチしてまいります。足元、本報道の事実関係、例えば高性能半導体は実際使用されていないのか、NVIDIAの独占を脅かすものなのかどうか、巨額のAIインフラ投資は不要になるのか、などゲームチェンジャーなのか、部分的なインパクトにとどまるのかは不明です。一方、トランプ政権下の米国動向への不透明感、原油等エネルギー価格への影響、インフレ動向と米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げペース、等々、市場のボラティリティ、不確実性が高まっております。また、引き続き、FRBの金融政策動向、インフレ、トランプ大統領の政策をにらんだ景気の先行きを探る動きが続く一方、企業業績の方向性が注目されると考えております。さらに、今回技術革新の行方を占うかもしれない事象が加わり、市場の物色動向が大きく変わる可能性も示唆されました。変化が起こりやすい環境となっているため、市場環境のモニタリングに注力してまいります。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85% (税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585% (税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。